

「カンボジアでの教育活動支援の取り組み」

平成28年6月2日

田原ロータリークラブ卓話

NPO法人オアシス

足立泰敏

1 カンボジアに着目して

- 前理事長のマジック講演が取り持つ縁 2008年～
ガーナ共和国からカンボジア王国へ

2 カンボジア内戦後の国づくり

- ボルボト政権下での内戦による人心・国土の荒廃
- 諸外国の支援頼みの国づくり
- 近年の経済成長率7%前後、都市と農村の経済・教育格差の広がり

3 カンボジアの教育の現状

- 「4ない教育」 ⇒ 「校舎がない」「教員がない」「教具がない」「予算がない」
- 日本と同様の6・3制義務教育、農村の中学就学率は20%以下
(就学率の低さの理由)・貧しさ ・遠距離通学 ・親世代の学校教育への期待の低さ
- 教育活動の貧しさ
 - ・集団一斉画一授業「読み・書き・計算」
 - ・教師の指導力不足、低賃金
 - ・無電力地域

4 新たな学校づくりに向けて「Look East:日本に学べ！」

- バイヨン中学校の開校理念(2013年10月)
 - ・現地NGO団体JST代表チア・ノル氏
 - ・学力の向上(教員の指導力の向上 ⇒ 授業実践、日本での教員研修)
 - ・将来の仕事への可能性を拓く(太陽光電力 ⇒ PC教育、実験・技能教育)
 - ・地域の人たちの学校への関心・期待(運動会の実現 ⇒ 体育の授業、教材教具)

5 バイヨン中学校第1回運動会(ビデオ視聴11分)

- 継続発展を見通しての運動会の企画・運営
 - ・日本の学校文化としての運動会の定着をめざして
 - ・生徒会活動(生徒の自主的活動)の構築を意識した運動会運営

6 教育から共育(きょういく)へ

- カンボジアの子どもも、先生も、そして地域も、そして支援に関わる私たちも
- 本法人がめざす、共に育つ人的環境づくり ⇒ 人がつながる、国がつながる